

伊丹市強靱化計画(第2期)(案)に係るパブリックコメントの実施結果について

このたび、お寄せいただきましたご意見と、それに対する伊丹市の考え方を下記のとおりとりまとめましたので公表します。

- 1 案 件 名 : 伊丹市強靱化計画(第2期)(案)
- 2 公 表 期 間 : 令和8年4月1日(水)～令和8年4月30日(木)
(意見募集期間: 令和8年1月5日(月)～令和8年2月3日(火))
- 3 資料閲覧場所 : 危機管理室窓口、各支所・分室、くらしのプラザ、市民まちづくりプラザ、「ふらっと」人権センター、図書館「ことば蔵」、総務課(行政資料コーナー)、まちづくり推進課窓口、市ホームページ
- 4 周 知 方 法 : 広報伊丹(令和8年4月号)、市ホームページ
- 5 意見提出件数 : 2件(1人)

郵送	ファックス	電子申請	持参	計
0件(0人)	0件(0人)	2件(1人)	0件(0人)	2件(1人)

(問い合わせ先) 伊丹市 総務部 危機管理室
〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1
電話 : 072-784-8166
FAX : 072-784-8172

6 提出されたご意見及び市の考え方

No.	意見内容	市の考え方
1	<p>本計画の全容について伺います。我が街伊丹市は、①民間航空機の離発着地を抱えている。②国防を担っている組織と共にある街です。強靱化計画は、上記二点についての記述を見つけることができない。見逃しているのであれば、該当の箇所をご教授願う。もし計画には含めないの特別な事情があるなら、その理由を教えてください。</p> <p>頁 18 (1) 直接死を最大限防ぐ重要業績指標 (KPI) について伺います。現病院が耐震構造で地震による揺れの影響が大きいことから、統合新病院では建物を免震化し、災害拠点病院として診療継続を目指す。(令和 9 年度後半)</p> <p>【伊丹病院】について、建築工事は進行中ですが、多くの免震対策は横揺れには対応できているが縦揺れには対応は出来ていないとも言われています。地震の発生率により現状の免震化を採用されたのでしょうか。以上です。</p>	<p>1 民間航空機の離発着地と国防を担っている組織とともにある街について 空港施設の強靱化につきましては、「国土強靱化基本計画」に基づき、国や空港管理者により対策が進められております。本計画においては、市域を超えた連携強化における関係機関として位置づけ、空港機能を維持するための緊急輸送道路及び緊急警戒道路の道路機能確保など、自治体として担うべき役割に重点を置いております。</p> <p>国防や武力攻撃事態への対処につきましては、別途定めております「伊丹市国民保護計画」において、国や県、関係機関と連携し万全を期すこととしております。一方で、本計画におきましても、「第 V 章 推進方針及び指標等」の P. 34 に記載されているとおり、市内にある自衛隊駐屯地は、災害発生時の救助活動や生活支援において最大の協力機関であると認識しており、災害発生時に備えて、「自衛隊、警察等と合同訓練を実施することで連携を強化する」としております。</p> <p>2 統合新病院の免震化の採用について 今回、統合新病院で採用している免震装置は、過去の地震被害の分析から建物被害や、機能停止の主因となる水平動を効果的に低減することを目的としたものです。一方、上下方向の地震動については、免震装置で対応するのではなく、建物躯体そのものの耐震設計の中で、建物の強度を十分に確保することで対応しております。</p> <p>建物被害に直結する横揺れに関しては免震装置を用いて、初期に到達する縦揺れに関しては、建物としての強度は担保した上で、患者さまへの安全確保については、緊急地震速報受信機を用いた職員の対応によって、災害拠点病院としての機能を維持してまいりますので、ご理解をお願いします。</p>